

MANPADS 対策の国際的取り組み

- 国際レジーム論の視点から -

(2008年9月13日 日本安全保障貿易学会報告)

高山嘉顕

はじめに

MANPADS (Man-Portable Air Defense Systems : 携帯型防空システム)

- ・ 一人または数人で携帯可能な地对空ミサイルの総称
- ・ 戦闘地帯における地上兵士が自陣営上空を軍用機や軍用ヘリによって制圧されることを防ぐために使用
- ・ 米国のスティンガー、旧ソ連製の SA シリーズが代表的

MANPADS に対する国際的な取り組み

- ・ マルチ
 - グローバル : WA、G8、国連 (軍備登録制度)
 - 地域レベル : OSCE、APEC、OAS
- ・ バイ
 - 米国 = カンボジア、米国 = ニカラグア 等
 - 露 = CIS 諸国
 - 米露合意 (ブラティスラヴァ・イニシアチヴ)

1. レジーム連携と相互作用 - 簡単な類型 -

- ・ レジーム連携 (Young 1996, 2002)
 - 垂直的な関係 : 「埋め込み型」、「入れ子型」
 - 水平的な関係 : 「交差型」、「クラスター化」
- ・ レジーム間の相互作用 (Gehring and Oberthur 2004)
 - 相互作用の起きる次元 : 機能的次元、メンバーシップ次元
 - 相互作用の性質 : 相互補完的、相互背反的 (競合)

2. MANPADS - 拡散と効果 -

(1) MANPADS の拡散

- ・ 冷戦中の米ソ : 東西対立に基づく戦略の一環として MANPADS の移転
- ・ 冷戦後、更に拡散が促進される
 - 拡散実態 : 50 - 70 万基、150 ヶ国、27 の非国家主体
 - 拡散の影響 : 軍用機・民間の航空機に対する使用

(2) MANPADS に対する脅威評価

- ・ MANPADS が与える脅威は莫大なものであるとする立場
- ・ MANPADS はそれ程大きな脅威を提示することはないという立場
- ・ 大量「効果」兵器 (WME : Weapons of Mass “Effects”) という視点

3 . MANPADS 対抗の国際的取り組み

- ・ 民間航空機への MANPADS 使用事件 例 : モンバサ事件 (2002 年 11 月)

(1) グローバルな取り組み

ワッセナー・アレンジメント (WA)

1990 年代後半 ~ 米国は MANPADS 問題を取り上げている。

1999 年 : MANPADS を含む SALW が「喫緊の問題」であると表明

2000 年 : 『MANPADS 輸出管理に関するエレメンツ』を採択

2003 年、2007 年 : エレメンツの改訂

G-8 : WA の原理を敷衍する政策に合意することで WA を補完する役割

エビアン・サミット 『交通保安および MANPADS の管理強化 - G8 行動』

シーアイランド・サミット 『安全且つ容易な海外渡航イニシアチブ』

国連 (軍備登録制度) : WA に呼応して MANPADS を報告品目の対象とする

カテゴリー VII : ミサイル・ミサイル発射装置

(2) 地域レベルでの取り組み

OSCE

2004 年 MANPADS 輸出管理の強化を決定

- FSC : WA による原理を採択することを満場一致で決定
- *OSCE Principles for Export Control of Man-Portable Air Defense Systems (MANPADS)* で WA の MANPADS エレメンツを支持

2006 年「付属文書 C : MANPADS」

- ・ MANPADS の備蓄管理と安全に関するベスト・プラクティスを提供
- ・ 備蓄場所・方法、監視体制・方法、アクセス・コントロールなどの詳細を規定

APEC

2003 年 10 月 : 6 月の G-8 (エビアン・サミット) 合意に沿った米国提案

2005 年 11 月 : *APEC Guidelines on Control and Security of Man-Portable Air Defense Systems (MANPADS)*

OAS

- ・ *Denying MANPADS to Terrorists: Control and Security of Man-portable Air Defense Systems* 採択 (2005 年 6 月)
- ・ OAS 参加国に MANPADS の輸出管理と備蓄の改善を促す

地域レベルによる取り組みは、WA の原則を受けて、ガイドラインや指針を当該地域の関連諸国に提供 (WA - OSCE 原則として他の地域レジームや国内措置に作用)

(3) 2 国間取り組み

米国主体のバイラテラルな取り組み

- ・ 国家安全保障上の必要を超過したり、管理が緩慢であったり、旧式の MANPADS の備蓄状況を改善、回収、破壊
- ・ 実施状況：
 - 2003 年米国務省：特定の国に余剰 MANPADS について議論するようアプローチ
 - 2004 年 3 月時点で米国は 9 ヶ国から、約 1 万の余剰 MANPADS 備蓄を破壊するコミットメント獲得

ロシア = CIS 諸国

2002 年 ~ ロシア：CIS 諸国に MANPADS の移転を控えるよう要求

2003 年 CIS 諸国：MANPADS の移転に関する情報交換を決定

- ・ 露による G8 への言及、グルジア問題

米露 2 国間協力

2005 年：「ブラティスラヴァ・イニシアチヴ」(MANPADS 規制強化協力に関する米露協定)

おわりに

- ・ 垂直的關係：グローバル・レベル > 地域レベル > 2 国間協定
 - 機能次元：入れ子型、下位レジームによる補完
 - メンバーシップ次元：相互補完
- ・ 水平的關係：WA=G8=UN、OSCE=APEC=OAS
 - 機能次元：交差型、相互補完
 - メンバーシップ次元：交差型、相互排他的
- ・ インプリケーション：他地域への移植可能性、(地域の) 主要国による関与
- ・ 更なる研究課題：ICAO による取り組み、2 国間取り組みの失速例 (ニカラグア問題)

